

有価証券報告書の訂正報告書

本書は、E D I N E T (Electronic Disclosure for Investors' NETwork)システムを利用して金融庁に提出した有価証券報告書の訂正報告書の記載事項を、紙媒体として作成したものであります。

株式会社千趣会

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2024年3月26日
【事業年度】	第78期（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）
【会社名】	株式会社千趣会
【英訳名】	SENSHUKAI CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長執行役員 梶原 健司
【本店の所在の場所】	大阪市北区同心1丁目6番23号
【電話番号】	06-6881-3100（代表）
【事務連絡者氏名】	コーポレート本部 経営管理部長 水野 朋子
【最寄りの連絡場所】	大阪市北区同心1丁目6番23号
【電話番号】	06-6881-3120
【事務連絡者氏名】	コーポレート本部 経営管理部長 水野 朋子
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1 【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

2023年3月31日に提出いたしました第78期（自 2022年1月1日 至 2022年12月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第5 経理の状況

1 連結財務諸表等

(1) 連結財務諸表

注記事項

(セグメント情報等)

セグメント情報

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

2 財務諸表等

(1) 財務諸表

注記事項

(損益計算書関係)

3 【訂正箇所】

訂正箇所は___を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第5 【経理の状況】

1 【連結財務諸表等】

(1) 【連結財務諸表】

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

(訂正前)

前連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結 財務諸表 計上額 (注)3
	通信販売 事業	ブライダル 事業	法人事業	保険事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	64,325	1,733	4,732	420	71,211	1,938	73,149	-	73,149
セグメント間の内部 売上高又は振替高	281	5	36	-	323	0	324	324	-
計	64,607	1,738	4,769	420	71,535	1,938	73,473	324	73,149
セグメント利益又は 損失()	894	1,045	302	189	341	7	349	0	349
セグメント資産	<u>50,254</u>	-	<u>1,362</u>	42	<u>51,659</u>	1,648	<u>53,307</u>	<u>830</u>	52,476
その他の項目									
減価償却費	630	282	13	-	926	54	981	-	981
のれん償却額	-	44	-	-	44	-	44	-	44
持分法投資利益又は 損失()	143	66	-	-	77	-	77	-	77
持分法適用会社への 投資額	641	-	-	-	641	-	641	-	641
有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額	<u>2,869</u>	7	<u>16</u>	-	<u>2,894</u>	264	<u>3,158</u>	<u>-</u>	3,158

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、子育て支援事業、化粧品製造販売事業等であります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失の調整額0百万円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額830百万円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(訂正後)

前連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	連結 財務諸表 計上額 (注)3
	通信販売 事業	プライダル 事業	法人事業	保険事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	64,325	1,733	4,732	420	71,211	1,938	73,149	-	73,149
セグメント間の内部 売上高又は振替高	281	5	36	-	323	0	324	324	-
計	64,607	1,738	4,769	420	71,535	1,938	73,473	324	73,149
セグメント利益又は 損失()	894	1,045	302	189	341	7	349	0	349
セグメント資産	<u>26,667</u>	-	<u>3,109</u>	42	<u>29,819</u>	1,648	<u>31,467</u>	<u>21,008</u>	52,476
その他の項目									
減価償却費	630	282	13	-	926	54	981	-	981
のれん償却額	-	44	-	-	44	-	44	-	44
持分法投資利益又は 損失()	143	66	-	-	77	-	77	-	77
持分法適用会社への 投資額	641	-	-	-	641	-	641	-	641
有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額	<u>2,311</u>	7	<u>40</u>	-	<u>2,358</u>	264	<u>2,623</u>	<u>535</u>	3,158

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、子育て支援事業、化粧品製造販売事業等であります。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益又は損失の調整額0百万円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額は、セグメント間取引の消去及び各報告セグメントに配賦していない全社資産であります。

(3) 事業セグメントに対する固定資産の配分基準と関連する減価償却費の配分基準が異なっております。

(4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額における調整額535百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産の増加額であります。

3. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 【財務諸表等】

(1) 【財務諸表】

【注記事項】

(損益計算書関係)

(訂正前)

(前略)

2. 販売費に属する費用のおおよその割合は前事業年度 68%、当事業年度 66%、一般管理費に属する費用のおおよその割合は前事業年度 32%、当事業年度 34%であります。

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前事業年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)	当事業年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)
運賃及び荷造費	4,717 百万円	4,891 百万円
販売促進費	8,523	9,734
販売促進引当金繰入額	249	—
貸倒引当金繰入額	69	65
役員賞与引当金繰入額	5	5
賞与引当金繰入額	0	0
給料及び手当	2,443	2,534
支払手数料	4,457	<u>8,780</u>
減価償却費	601	1,178

(後略)

(訂正後)

(前略)

2. 販売費に属する費用のおおよその割合は前事業年度 68%、当事業年度 66%、一般管理費に属する費用のおおよその割合は前事業年度 32%、当事業年度 34%であります。

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前事業年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)	当事業年度 (自 2022年1月1日 至 2022年12月31日)
運賃及び荷造費	4,717 百万円	4,891 百万円
販売促進費	8,523	9,734
販売促進引当金繰入額	249	—
貸倒引当金繰入額	69	65
役員賞与引当金繰入額	5	5
賞与引当金繰入額	0	0
給料及び手当	2,443	2,534
支払手数料	4,457	<u>5,764</u>
減価償却費	601	1,178

(後略)